

高校生に聞く

提案します!  
和歌山みらい条例



▷ 下 ◁



大学・専門学校の誘致条例

田辺工業3年

高尾 海斗君  
たかお かいと



若者が和歌山県の良さを知って祭りなどに参加することで、伝統文化が残り続けていくことにもつながります。  
今は地元で遊ぶ場所が少ないですが、学校の誘致で若者が増えれば、大型ショッピングモールなどもできると思います。

人口がどんどん減少し、学校のクラスは前よりも少なくなっています。大学や専門学校を増やせば県外から学生が来て、就職する場所もあればそのまま住み続けることができます。そして県内の高校生は地元で進学でき、人口流出を抑えられます。  
そこで「大学・専門学校の誘致条例」を提案します。県外の

みんなが快適バス条例

南紀3年

北村 佳奈さん  
きたむら かな



生や高齢者、外国人観光客で混み合います。  
譲り合って乗っていますが、時には身動きすらとれないこともあります。増えれば高齢者の負担軽減、外国人観光客の増加にもつながります。みんなが快適に利用できるバスになってほしいです。

私は「みんなが快適バス条例」を提案します。身近な公共交通機関であるバスがもっと便利で快適な乗り物として利用できるように、行政には混雑する時間帯の増便ができるよう、バス会社を支援してもらいたいのです。  
私は学校(田辺市学園)から田辺市鮎川の自宅まで路線バスを使っています。特に夕方は学

就職や子育てしやすいまち条例

南部3年

片山 承君  
かたやま しょう



小さい頃、大きな病気で通院したのですが、地元のみなべ町は子どもの医療費が無料なので助かりました。ずっと続けてほしい制度です。  
また、小さい子が遊べる公園が少なくなってきたのが残念です。若者に住みよい地域にするために「就職や子育てしやすいまち条例」を提案します。

卒業後は県外の大学で経済を学ぶ予定です。就職は地元でしたいと考えていて、外の世界に触れ、大学で学んだことを生かして地元をよりよくしていきたいと考えています。就職先の選択肢が豊富であれば、地元で就職したい人が増えると思います。